



国際科学オリンピック出場に向けた、ガイダンスを実施しました。

普通科
探究科

本年度2回目となる国際科学オリンピック出場に向けたガイダンスを、9月11日(水)に開催し、普通科の1年次生1人と2年次生2人、探究科の1年次生6人と2年次生4人が参加しました。このたびのガイダンスは、2学期以降に国内予選が開催される、日本数学オリンピック、日本情報オリンピック、日本地学オリンピックおよび科学地理オリンピック日本選手権を紹介するためのものです。



日本数学オリンピックを紹介する普通科の3年次生

ガイダンスでは、昨年度日本数学オリンピックや日本地学オリンピックに参加した3年次生や、日本情報オリンピックに参加した2年次生が、学習方法や出題される問題の傾向、学習の際に参考にしたウェブサイトや書籍などを紹介しました。昨年度、第34回日本数学オリンピックで地区表彰を受け3年次生は、「国際科学オリンピックは自分にとって遠い存在と思っていたが、参加することにより自分の力を確かめることができた。そして、何よりも参加を通じて校内の数学を得意とする生徒に出会い、互いに切磋琢磨するきっかけとなったことがよかった。」と話していました。また、第16回日本地学オリンピックに出場した3年次生は、「学校では地学の授業が開講されていないので参加が難しいと思っているかもしれないが、自分で学習してみると理解できることが多いことがわかった。ぜひ挑戦してみしてほしい。」と話していました。すでに、国内予選が始まっていますが、参加するみなさんの健闘を期待しています。

1年次生を対象とした、大学セミナーを実施しました。

普通科
探究科

夏休みの後期課外が始まった8月19日(月)に1年次生を対象とした大学セミナーを開催しました。大学セミナーは、将来大学進学を目指す1年次生に、本校の卒業生が大学での学びなどを紹介するものです。このたびは、表に示した12人の卒業生が来校し、それぞれが所属する大学・学部・学科等の特徴や普段の授業の様子、それぞれの学部・学科を卒業したのちの進路、大学生活等を紹介しました。さらに、大学に入学するために、本校在学中に取り組んでいた学習方法なども述べられ、1年次生はこれから大学受験に向けてどのように学習を進めていけばよいのか理解することができました。

表 講座を開設した分野と担当した卒業生が在学している大学等

講座	在学している大学・学部等	学年
人文学	山口大学人文学部人文学科	3
外国語学	大阪大学外国語学部外国語学科スペイン語専攻	1
法学	広島大学法学部法学科	4
経済学	山口大学経済学部観光政策学科	2
教育学	福岡教育大学教育学部初等教育教員養成課程小学校専攻プログラム	2
学際	山口大学国際総合科学部	2
化学	熊本大学理学部理学科化学講座	3
生物学	岡山大学理学部生物学科	3
材料工学	九州大学工学部材料工学科	3
情報工学	九州工業大学知能情報工学科メディア情報学コース	2
医学	山口大学医学部医学科	3
薬学	山口東京理科大学薬学部薬学科	4

1年次生が書いた感想には「オープンキャンパスに参加したときに聞いた説明だけでは気付くことができなかった、大学の特徴がわかった。もっと志望する大学について調べたい。」や「理学部と工学部の違いを理解することができた。」「大学は興味のある分野のみ学習する学校だと思っていたが、1年生のときは幅広く学ぶことがわかった。また、どの分野に進んでも、英語は必ず必要である理由を理解した。」などがありました。1年次生にとって、将来の進路を考える、よい機会となりました。



大学での学びを紹介する卒業生

「アースバトンin霧島～九州・山口の未来～」に、4人の生徒が参加！

普通科

探究科

9月21日(土)・22日(日)に鹿児島県霧島市の霧島自然ふれあいセンターで開催されたアースバトンin霧島に、科学部に所属する普通科の1年次生4人が参加しました。アースバトンは山口県が参加する九州地域戦略会議が主催したもので、九州・山口の各県の高校生などが、フィールドワークやグループワークを通じて環境問題について関心を深め、自ら取り組む「グリーン社会」の実現に向けた活動に生かすきっかけをつくることを目的としています。第2回目となるこのたびは、山口県から参加した6人を含め、42人の高校生が九州・山口の各県から参加していました。



徳山高等学校の生徒と山口県の環境問題についてディスカッション

アースバトンでは、間伐材を利用して箸をつくる活動やVRを用いた間伐体験、地球温暖化のしくみや森の役割について学ぶ講義などが行われました。また、参加した各県の高校生とのディスカッションや山口県から参加した徳山高等学校の生徒2人と山口県の環境にかかわる課題について考えるワークショップがあり、それぞれの地域の課題と山口県の課題を比較しながら考えることができました。

あいにくの天気で、きりしま九電みらいの森で予定されていたフィールドワークに参加することはできませんでしたが、九州・山口の各県の高校生と「グリーン社会」の実現に向け、主体的に活動することの必要性を共有することができました。



間伐材を利用した箸づくり



VRを使って森林の間伐を体験



1泊2日の研修に、本校から参加した4人の生徒

課題研究に取り組む探究科2年次の家庭班が、企業に相談しました。

探究科

野菜から抽出した煮汁が、洗剤と同様に洗浄作用をもっていることを確かめるため、研究を進めている家庭班が、1学期末から夏休みにかけて石けんや洗剤などを製造しているシャボン玉石けん株式会社や株式会社LCRに電子メールで質問しました。質問の内容は「煮汁を固形石けんにすることができるのか」や「よごれが落ちたことを確かめる方法」についてです。シャボン玉石けんの研究開発部のみなさんからいただいた電子メールには、「油脂を含まない煮汁では、固形にするのは難しい。液体のまま使用するほうが適当ではないか。」や「油、タンパク質、炭水化物それぞれについて、煮汁でよごれを落とすことができるか確かめてみるとよい。例えば、油よごれはATP検査などで、よごれが落ちたことを確認できる。」などのアドバイスをいただくことができました。さらに、自然災害が起こった場合に、洗剤などの物資が不足してしまうのではないかと考えた家庭班のメンバーは、作った煮汁で洗剤を代用することを考えました。自然災害が起こった場合には、交通網が寸断され物流が停滞してしまうことから、山口県において生産量が多い野菜に着目することとしました。JA山口県に野菜の生産について問い合わせたところ、野菜ごとに生産量が多い地域と出荷量が多い時期を教えていただきました。多くの方々からアドバイスや情報をいただいたことに感謝し、これらを生かして研究を深めましょう。



実験に取り組む家庭班の生徒

普通科

は普通科を、

探究科

は探究科を対象としたプログラムです。